

# 交通事故誘発の危険のある道路の改善を行ってほしい

## 〔相談の要旨〕

国道 208 号線の下り線のドライブイン付近は、車両通行帯や路側帯に白色の実線と点線が引かれているところがあるため、道路表示が紛らわしい。

この地点は、自動車が夕方や夜間などに車両通行帯の範囲を見誤り、車両通行帯と路側帯の間を通行すると、その部分がカーブ地点で途切れているため、道路の縁石に衝突する危険性があり、交通事故も発生している。

運転者が自動車の通行可能な範囲を見誤らないように改善してほしい。

## 〔相談の結果〕

相談を受けた行政相談委員は、現地を確認したところ、相談のとおり、運転者に分かりにくく道路の縁石に衝突するおそれがあること、夜間等は特に危険であることが判明した。

このため、行政相談委員は、道路管理者に対し、苦情を連絡するとともに、改善策を検討するよう要請した。

その結果、相談現場のカーブ地点に交通安全防護柵及び視線誘導標(➡➡➡)が新設されたため、自動車が道路の縁石に衝突する危険性が少なくなり、従来に比べると運転者が惑わされないように改善された。

【改善前】



【改善後】

